

誰もが、その人らしく暮らせる「共生社会」を目指し、障害児・者の自立と社会参加に向けて、総合的なリハビリテーションを推進し、地域社会に貢献します。

Ⅱ 基本方針（重点取り組み）

理念に基づき、5つの重点的な取り組みを推進します。

- 1 利用者本位の安全で安心できるサービス、良質な医療と福祉の提供に努めます。
- 2 高度・専門的なリハビリ医療や福祉との連携により総合的なリハビリテーションを推進します。
- 3 地域包括ケアシステムに貢献する地域リハビリテーションを推進します。
- 4 専門的な人材の育成及び働きやすい環境の整備を図ります。
- 5 効果的、効率的な運営に努め、経営基盤の強化を図ります。

Ⅲ 職員の行動規範（心構え）

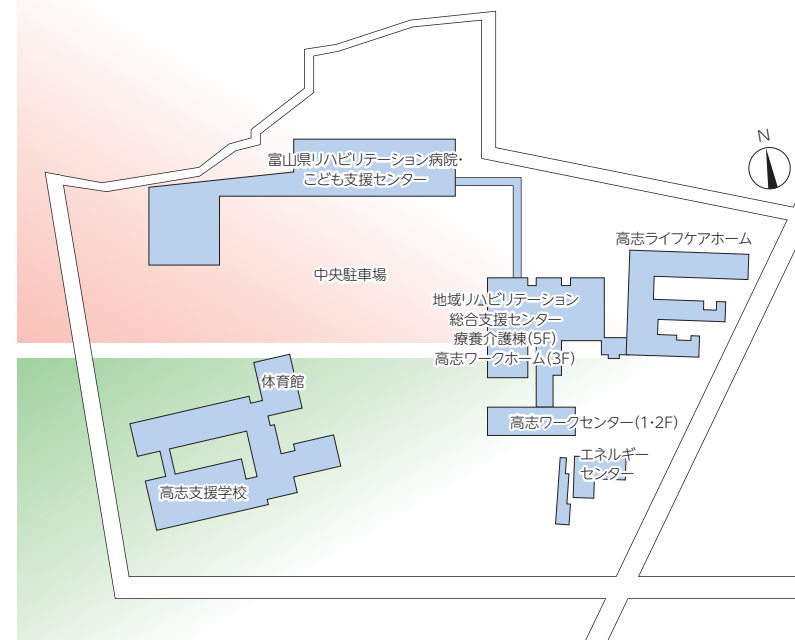
仁 私達は、ひとりひとりの尊厳を守り、思いやりと愛情をもって、信頼される医療・福祉を実践し、利用者の皆さんの自立を支援します。

和 私達は、医療・福祉の総合的なサービスのため、お互いの連携・協力のもと、満足度の高いチーム医療・福祉を実践し、社会に貢献し、地域と絆を結びます。

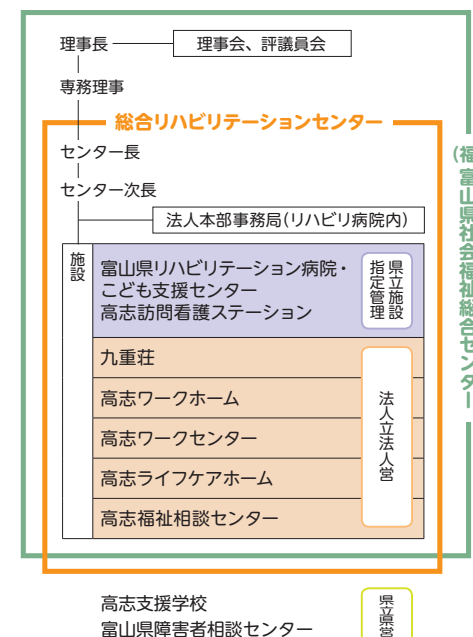
志 私達は、専門職としての誇りのもと、常に先進的な課題に挑戦し、最高のサービスを提供します。

育 私達は、こどもたちの発達、生きる力を育みます。

施設配置図



組織機構



交通のご案内



- 富山駅前より地铁バス
 - ・県リハビリテーションセンター行終点下車(所要時間 40 分)
- JR 東富山駅下車
 - JR 東富山駅口より地铁バス
 - ・県リハビリテーションセンター行乗車
 - タクシー 5 分 ● 徒歩 30 分



- 富山駅前より地鉄バス利用（所要時間 30 分）
・流杉病院行終点下車 徒歩 100m



社会福祉法人
富山県社会福祉総合センター
〈富山県総合リハビリテーションセンター〉



富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
高志訪問看護ステーション

九重莊

高志ワークホーム

高志ワークセンター

高志ライフケアホーム

高志福祉相談センター

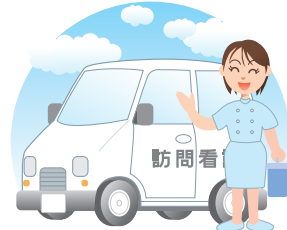


こども支援センター 交流ロビー

社会福祉法人 富山県社会福祉総合センター

〒931-8443 富山市下飯野36番地 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター内
TEL (076) 438-2233 (代) FAX (076) 437-5390 <http://www.toyama-syasougou.jp>

社会福祉法人 富山県社会福祉総合センター（昭和48年12月設立）の経営する施設一覧

種別	リハビリ専門病院・児童発達支援センター・障害児入所施設		居宅サービス事業所	障害者支援施設	障害者支援施設	障害福祉サービス事業所	相談支援事業所	軽費老人ホーム	
施設名	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター（県立：指定管理）		高志訪問看護ステーション（指定管理）	高志ライフケアホーム（旧 高志療護ホーム）	高志ワークホーム（旧 高志授産ホーム）	高志ワークセンター（旧 高志福祉作業センター）	高志福祉相談センター	九重荘	
主な沿革	昭和52年 9月 （富山県立高志学園 移転開設（県立県営）） 昭和59年10月 （富山県高志リハビリテーション病院開設（法人受託運営）） 昭和59年10月 （富山県高志通園センター開設（法人受託運営）） 平成28年 1月 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 開設（202床）（高志リハビリテーション病院、高志通園センター、富山県立高志学園を統合再編成） 平成30年 7月 療養介護棟（療養介護事業所・短期入所） 開設（定員30床）		平成26年 4月 開設 平成30年7月から受託運営（指定管理）	昭和57年 4月 開設（定員50名） 昭和63年 4月 （定員86名） 平成7年 9月 （定員90名） 平成24年 4月 新体系移行 平成26年 4月 高志サポートホーム統合 平成26年10月 （定員80名） 平成30年 7月 （定員69名）	昭和54年 4月 開設（定員50名） 平成16年 4月 （定員44名） 平成16年10月 （定員40名） 平成24年 4月 新体系移行 平成28年 4月 （定員30名） 平成28年 7月 旧高志リハビリテーション病院3階へ移転	平成 2年 4月 開設（定員30名） 平成16年 4月 （定員40名） 平成24年 4月 新体系移行（定員46名） 平成25年 4月 （定員40名） 平成28年 7月 旧高志通園センターへ移転	平成25年 4月開設	昭和49年 7月 開設（定員50名） 昭和54年 4月 増設（定員100名）	
実施サービス及び定員	[リハビリ病院] 回復期リハビリテーション病棟 100床 一般病棟 50床 療養介護棟(療養介護事業所・短期入所) 30床	[入所施設] 医療型障害児入所施設 50床 短期入所 2床 [通所施設] 医療型児童発達支援センター 40名 福祉型児童発達支援センター 30名 日中一時支援 児童発達支援事業 放課後等デイサービス } 生活介護 保育所等訪問、障害児等相談支援事業 5名	訪問看護 訪問リハビリテーション	生活介護 自立訓練 施設入所支援 短期入所 日中一時支援 69 名 6 名 69 名 2 名 2 名	生活介護 施設入所支援 短期入所（空床型） 30 名 30 名	就労継続支援B型(非雇用型) 就労移行支援 機能訓練 (平成30年10月実施予定) 生活訓練 (平成30年10月実施予定) 34名 6名 10名 10名	特定相談支援事業 一般相談（地域移行）支援事業 障害児相談支援事業	100名	
サービスの概要	富山県におけるリハビリテーションの中核的病院として、他の医療機関では受け入れ困難な重症患者等を積極的に受け入れ、効果的なリハビリの実施により、患者の早期回復・早期在宅復帰を促進します。 医療ケアの必要な重症心身障害者や難病患者に機能訓練、看護、介護及び日常生活の支援を行います。 県の委託により、富山県高次脳機能障害支援センター、富山県リハビリテーション支援センターとして、地域リハビリを推進します。		子どもの多様な障害に対応し、発達の遅れや偏りが気になる児童に、診療・相談・評価・リハビリテーション・保育に至る一貫した機能で、早期発見・早期支援を行います。 また、障害児が安心して住み慣れた地域で暮らせるよう、様々な事業を実施し、地域生活の支援体制を強化します。 富山県発達障害者支援センター及び障害児等療育支援事業を実施し、障害児(者)を支援します。 脳性麻痺、外傷その他の病気で、四肢や体幹の機能に障害のある児童を入所させ、整形外科的及び小児神経的な治療や将来の自立に必要な身体と知識、社会性を培えるよう、生活指導、療育を行います。 また、重度重複障害への対応、親子入所、ショートステイ、レスパイトケアなど、幅広いサービスを提供します。	要支援・要介護状態にある方や病気が、けがなどにより家庭において療養が必要な方（特に重症心身障害児(者)、脳性麻痺・神経難病や脳卒中患者）を対象に、住み慣れた地域や家庭で安心して生活が送れるよう、看護師・理学療法士・作業療法士、言語聴覚士が訪問し、訪問看護・リハビリサービスを提供いたします。	【生活介護】 常時介護を必要とする身体障害者の方々が、明るく充実した生活を送るために必要な日常生活上の介護・相談等の支援を行います。 事前に利用者の意向を伺い、障害特性に即して個別支援計画を立て、身体機能の維持、生活の質の向上に重点を置いています。 日々の生活が「安心・安全・健康」であり、趣味・余暇では、生き生きと心から楽しめるような各種支援メニューを提供しています。 (例) ●創作活動：「絵画」「習字」「生け花」「音楽活動」「DVD 映画鑑賞」など ●スポーツ競技活動：「ボッチャ」「卓球」「フライングデスク」「運動会」など ●年間行事：「社会見学」「花火大会」「施設祭り（あつまら〜れ）」「クリスマス会」など	【生活介護】 常時介護が必要な身体障害者の方々に対して、社会的自立を図るために、それぞれのニーズを把握した上で、必要な支援を行うとともに、高志ワークセンターと連携して、生産活動の機会を提供します。 【主なサービス】 ●食事・入浴・排泄等の日常生活支援 ●生産活動 ●機能訓練 ●スポーツ（ウォーキング、卓球バレー、フライングディスク、ボッチャ等） ●サロン（喫茶、足湯、カラオケ、ゲーム、DVD 鑑賞等）	【就労継続支援B型】（非雇用型） 一般就労が困難な方々に、より高い価値を生み出す作業を提供し、工賃向上を目指しています。 【就労移行支援】 一般就労を希望される方々に、就職に向けてスキルアップ訓練を行うとともに、障害者職業センター、ハローワーク等と連携した支援を一定の期間にわたり行います。 ＜生産活動内容＞ ●ゴム製品の外觀検査・加工 ●オムツ・清拭のタタミ ●産業機器の部品加工 ●自動車用電線加工 ●パン等の食品製造販売(平成31年度開始予定)	【基本相談】 ●障害のある人、その保護者、介助者などからの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のために必要な支援を行います。 【特定支援相談】（計画相談支援） ●福祉サービス等を利用する場合に、サービス利用計画を作成します。 ●一定期間ごとに評価と見直しを行います。 【障害児相談支援】 ●障害児の通所サービス等の利用計画を作成します。 ●一定期間ごとに評価と見直しを行います。 【地域相談支援】（地域移行支援） ●入所施設から地域生活への移行に必要な相談や支援を行います。 ●入所施設への訪問相談を行います。	60歳以上の自立した生活ができる方に、低額な料金で安心かつ生き生きと明るい生活を提供します。 ●居室は個室と夫婦室があります。 ●嘱託医・看護師による健康相談や栄養士による食事管理を行っています。 ●外泊、外出は届け出により自由にできます。 ●レクリエーション、日帰り旅行等の行事、各種クラブ活動があります。
	●急性期病院との連携による切れ目のない医療体制の充実強化 ●高度・専門的なリハビリテーション医療の提供 ●チーム医療による総合的リハビリテーションの実施 ●子どもの多様な障害への対応と地域生活支援体制の強化 ●地域リハビリテーションの推進 ●福祉機器の研究開発やロボット等を利用した先進的・効果的なリハビリへの積極的な取り組みなどによるテクノエイドセンター機能の充実 ●重度の障害に関する児者一貫のケア体制を実施 【診療科目】 (常設科 6科) 内科、神経内科、小児科、整形外科、リハビリテーション科、歯科 (非常設科 6科) 泌尿器科、脳神経外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科 (専門外来 11科) 義肢・装具、パーキンソン病、非侵襲的脳刺激治療、嚥下、糖尿病、甲状腺、腎臓・高血圧、手・足の外科、リウマチ、子どもの心（児童精神）、てんかん		富山県発達障害者支援センター 愛称 ほっぷ		【施設入所支援】 平日の夜間を含めて、土日祭日の基本的な生活支援（介護）を切れ目なく行っています。 具体的には、食事・入浴・排泄・着脱・清潔・服薬等の日常生活上の必要な支援を行います。 【機能訓練】 作業療法や運動療法、その他必要なリハビリテーション支援を行う 【協力病院】 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	【施設入所支援】 通所が困難な自立訓練の利用者や、生活介護の利用者で、障害支援区分4（50歳以上は3）以上の方々に主として夜間において、必要な生活支援を実施します。 【行事等】 月一回の社会見学・買い物学習、日帰りバス旅行、忘年会などがあります。 【協力病院】 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター			
所在地及び連絡先	〒931－8517 富山市下飯野36番地 TEL 076－438－2233 FAX 076－437－5390 こども支援センター専用FAX 076－426－1588 soumu@toyama-reha.or.jp		〒931－8443 富山市下飯野36番地 TEL 076－438－7228 FAX 076－438－7218	〒931－8443 富山市下飯野36番地 TEL 076－438－6019 FAX 076－438－6069 koho@koshi-life.jp	〒931－8443 富山市下飯野36番地 TEL 076－438－4502 FAX 076－438－4503 work@selp-toyama-koshi.jp	〒931－8443 富山市下飯野36番地 TEL 076－438－2226 FAX 076－438－6069	〒931－8443 富山市下飯野36番地 TEL 076－438－2226 FAX 076－438－6069	〒939－8032 富山市流杉177番3号 TEL 076－423－7880 FAX 076－423－1103 info@kokonoesou.jp	
ホームページ	http://www.toyama-reha.or.jp		http://www.toyama-syasougou.jp	http://www.koshi-lifecarehome.jp	http://www.toyama-syasougou.jp		http://www.toyama-syasougou.jp	http://www.kokonoesou.jp	